

魚津ロータリークラブ会報誌

2015-2016年度 R I 会長 K.R. ラビンドラン

2015-2016年度 魚津RC会長 羽田 陸朗



第3004回 例会

2016年 1月 29日

- 1、点鐘・握手
- 2、ロータリーソング「奉仕の理想」
- 3、ゲスト・ビジター なし
- 4、誕生祝 なし

5、会長挨拶(羽田会長)

- ・気候の変動が激しいので、腰痛などが増え、また今週に入りインフルエンザが流行ってきました。
- ・予防注射の効果が大きいので、皆さん”感染症の予防をしましょう”
- ・肺炎ワクチンの場合は、免疫が5年間続きますので、65歳、70歳、75歳などの節目には必ず受けましょう。
- ・1月は職業月間です、簡単に言えば「職業を通じて地域社会に奉仕する」です。「四つのテスト」を尊重し、言行を实践するのがロータリーの精神です。



6、幹事報告(川岸幹事)

(1)60周年記念事業の決算報告について(別紙配布済)

(2)2月例会案内

- ・2月5日例会は、武隈さんの卓話です。
- ・2月12日例会は、職業奉仕委員会の優良従業員表彰です。
- ・2月19日例会は、寺田さんの卓話です。
- ・2月25日例会は、平崎さんの卓話です。

(3)2月のSAA補助は杉野さん、中島さん、中田さんです。

7、出席報告(坪野クラブ奉仕委員)

- ・本日の出席 24名 欠席 6名 出席率 79.31%。
- ・3002回のメイクアップ 愛宕さん、大城さんがされ、修正出席率は、82.75%のになりました。

8、ニコボックスの報告は、なし。

9、委員会報告は、なし。



10、卓話 (魚津ロータリークラブ 根岸 朗さん)



テーマ「私の健康法」

広報委員より、今回の根岸さんの卓話は、94年間の貴重な体験から生み出された「驚くべき健康法」の披露でした。

その通り実行していけば、根岸先輩の年齢まで元気で生きて行けることを証明していることを表しています。

皆さん、健康で根岸さんを手本に生活し、ロータリー活動に励みましょう。

- 付いては、大変詳しい卓話原稿を頂きましたので、別紙にて皆様にお渡し致します。よろしく願いいたします。

[あとがき]

- 朝日の昇る位置も、僧ヶ岳と毛勝岳の境目より幾らか毛勝よりでしたが、今は僧ヶ岳の右裾から山へと登ってきました。陽ざしが日日強くなり、陽も長くなりました。
”皆さん、一年の計画が出来ましたか、春がすぐそこまで来ていますよ”と草木や野鳥や日・月が声かけをしているように覚えます。

- 60周年記念事業の収支決算が発表されました。
流石に優秀な経営者集団です。収支がピタリでした。
皆さん、ご苦労さまでした。

- あの中川正昭先生が亡くなって、3月1日で1年になると幹事の報告がありました。
「なんとなくー」と笑顔でニコボックスしていた松田栄明さんも、まもなく一周忌を迎えます。
”光陰矢の如し” 年月の経つのは早いものです。
「死にし子 よかりき==」、土佐日記(紀貫之著)が思い出されます。



(例会会場の花々)

- 大寒、節分、立春も終わりましたが、まだまだ寒い日が続きます、健康に留意し、根岸さんの体験を参考にし、元気に暖かい春を迎えましょう！

•ポールハリス語録一その14

ロータリーアンが、身分の上下と貧富、人種、宗教、政党にかかわらず、みんなの親善大使であり続けますように。
この心地よい小さな世界、私たちのよく知っている最高の小世界の住人に、寛容、慎み、正義、親切、友好、友情を届けることができますように。
(ロータリーの理想と友愛) 2012年10月7日配信

あとがき その1(寺田)

1月31日(日) 於宮津八幡宮 節分祭を斎行しました。



(左)事前に煎った地元産大豆を袋詰めする様子
今までは、県外から仕入れた市販の福豆を購入して、みなさんにもお配りしておりましたが、今年は宮津の宮本みそ店で寄進頂いた地元産大豆で全て手作りました。
豆を煎る作業は近所のおばちゃんが手伝ってくれ、福豆を詰める作業は、このように大勢の女性陣が集まり、このように賑やかに1500袋を作りました。



(左)福男2人、福女1人、神職2人で豆撒き
人の心の中には3匹の鬼がいるといいます。
1匹目は欲の鬼、2匹目は怒の鬼、3匹目は愚痴
の鬼。そんな心の内に潜む鬼を外に追い払い、
福男福女の撒く福豆を拾って福を呼び込みました。

あとがき その2(寺田)



2月4日の立春の早朝、本江酒造の蔵元で、「北洋立春朝搾り」の出荷祓のご奉仕をしてきました。
この「立春朝搾り」は、日本名門酒会が毎年行っている立春限定販売で、全国の38蔵から出品。
富山県下では唯一魚津市の本江酒造のみ。販売店は立山酒店各店と富山市の四十万酒店です。
瓶に掛かったタグには、宮津八幡宮御祓いと書かれています。
今年で19回目のようです。以前は先代の父がご奉仕しており、毎年、神事でお供えされるお神酒の
お下がりを楽しそうに持ち帰っていたのを懐かしく思い出します。
亡き父の後、私をご奉仕をするようになってから、4回目の立春でした。
きりと冷えた酒蔵で、関係者がご神前に玉串を奉げて出荷の安全と蔵元と販売店の繁盛を
お祈りしました。